

⑧ 現代詩の祭典in南九州市 詩の現在・詩の未来

現代詩を身近なものにし、詩の愛好者の層を広げ、心の豊かさを醸成するとともに、「詩の現在」を問い、「詩の未来」を考える祭典です。ゲストに、詩人の城戸朱理氏、和合亮一氏、石田瑞穂氏を迎える予定です。

平成27年4月1日より作品を募集し、優秀作品の表彰を行うほか、「川辺フィルハーモニー管弦楽団」の演奏、劇団「いぶき」の朗読劇、シンポジウムや詩の朗読を開催します。

・日時:11/8(日)13:00~16:30

・会場:南九州市コミュニティセンター知覧文化会館



photo© TDW

第30回国民文化祭南九州市実行委員会事務局
(南九州市教育委員会社会教育課内)

☎ 0993-56-5404 ホームページ <http://www.city.minamikyushu.lg.jp/cgi-bin/index.cgi>

▶ 地域で文化活動に取り組んでいらっしゃる皆さん

劇団「いぶき」代表 宮原 俊郎さん(南九州市文化協会 会長)

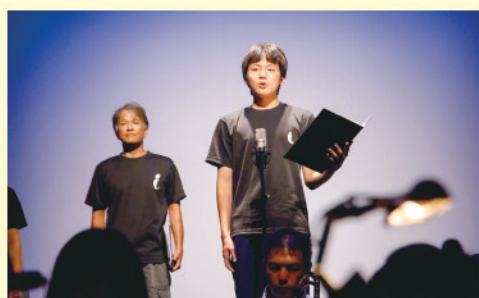
南九州市の劇団「いぶき」は、知覧町連合青年団の劇団として結成されました。

その後、青年団の枠を超えた市民劇団として、高校生を含めた様々な年代の団員35名で、地域に題材を求め、脚本・演出・音楽・音響・照明など全てオリジナルで創作しています。

知覧から出撃した特攻隊員の遺書、鳥濱トメさんが遺族に書かれた手紙を題材とした朗読劇「ほたる かえる」は、平成13年の初演以来県内外各地で公演を行い、近年では「川辺フィルハーモニー管弦楽団」とのジョイント公演も試みました。

国民文化祭においても、現代詩の祭典にふさわしいパフォーマンスを行うこととしています。

お茶どころとしても知られる南九州市は、歴史と文化、すばらしい景色、伝統工芸など見どころ満載です。皆さまぜひ、南九州市の国民文化祭にお越しください。



photo© TDW

南九州市立穎娃小学校の皆さん

平成27年1月27日、穎娃小学校で、鹿児島県詩人協会事務局長の山下久代さんを講師に迎え、現代詩の講習会を開催しました。

この講習会は、金子みすゞさんの「私と小鳥と鈴と」や「100歳の詩人」として有名な柴田トヨさんが東日本大震災の被災者の方々へ向けて作った詩、特攻隊員の手帳に遺された詩等を題材として、私たちをとりまく言葉の世界や表現の仕方について学びました。

南九州市が主催する「現代詩の祭典」において、4月1日から作品募集を開始するのに伴い、市内の児童・生徒に「現代詩とはどんなものか」、「どうやって詩を作ればいいのか」を学んでもらうために企画したもので、市内の15校で開催することとしています。

